

延伸が大きく前進!

北大阪急行線の

国・府・鉄道事業者と現地調査・基本設計に着手

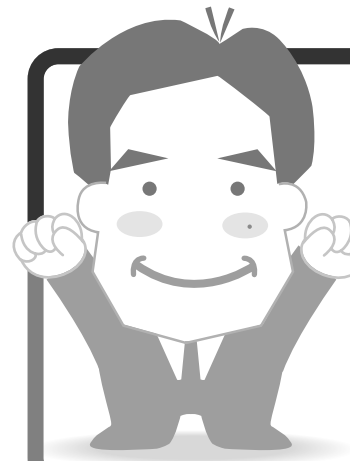
北大阪急行線の延伸が新たな局面を迎えています。いまから40年以上も前に策定された市の総合計画で、すでにその必要性が謳われていた北急延伸。この延伸で、新大阪、梅田、難波など、大阪の大動脈「地下鉄御堂筋線」と箕面市が直結し、みどり豊かな住宅都市としての箕面市の魅力に都心部への強力なアクセス性、利便性、環境性が加わり、市域全体

で住宅都市としての価値がよりいっそう高まります。さらに、鉄道延伸とあわせたバス路線網の再編により、これまでの千



里中央や北千里を中心とした南北方向のバス路線網から、新駅を中心に東西間のアクセスも充実するバス路線網に再編され、市内外の移動が大幅に充実します。

歴代市長が取り組んできた一大事業である北急延伸。倉田哲郎市長は就任後、直ちに国交大臣に面談するなど、市の「本気度」を各方面に示し精神的に取り組み、その結果、北急延伸はこの3年半で大きく前進。あわせて、船場地区への国立循環器病研究センターの誘致にも取り組んでいるとか。いまさらながらに、大胆な発想や若い行動力には驚かされます。



箕面まちづくりニュース

“市民のチカラ!”

2012年5月号

箕面の明日をつくる会 Fax 727-4326 箕面市小野原西1丁目10番34号

熱き志

トップギア 力強く加速します!

倉田哲郎市長が市民の皆さまの信託を受け、箕面市長という重責を担って早や4年。この間、愛すべき箕面にこだわり、箕面に住んでいてよかった、箕面に住みたい、ずっと住み続けたい、そう感じていただけるまちづくりを志し、また次世代を担う子どもたちに自信を持って引き継げる箕面であることにこだわり続け、自らが動くことを旨として、変えるべきは断固として変え、伸ばすべきは思い切って伸ばすという一貫した姿勢により、箕面は着実に発展してきました。

具体的には、府内で初めての幼稚園、小・中学校の100%耐震化やオレンジゆずるバスの運行。保育所待機児童対策などの子育て施策やシニア塾・シニアナビの開設、山なみ景観や緑の保全、そして北急延伸の基本設計着手など、幅広い取り組みが展開されています。

その一方で、財政バランスの復元も着実に進められ、市の基金のV字回復という成果も表れています。

倉田哲郎市長は、今年の8月に行われる箕面市長選挙に立候補することを市議会において表明しています。

まちづくりは、最低でも10年を一区切りとしてとらえていく必要があるというのが、倉田哲郎市長の持論です。今回の“市民のチカラ”では、将来を見据え、トップギアで加速し、まちづくりに全力を尽くす倉田哲郎市長のこれまでの成果の一端を紹介します。



◆nagomi◆ 倉田市長は二児のPa Pa ◆nagomi◆nagomi◆nagomi◆nagomi◆nagomi◆nagomi◆

以前、イクメン市長で話題になった倉田哲郎市長。ふだんは仕事の書き込みだらけの市長のツイッターにも、たまにお子さんやご家族に対する愛情が感じられる書き込みが見つかります(イクメンとは育児をする父親のこと)。

◆たとえば、つい最近、家族で映画を見に行くと、「いまのドレモンは声優陣が昔と変わっているので、子どもが見始めて久しぶりに見たときは違和感あったけど、もう慣れた子どもも大好き。やっぱりドラえもんは不滅だ!」(2012.3.3)

◆お次は、お子さんの成長のようすを見ての「ママ」。

「我が家の一歳児。ママは呼ぶけど、パパと言わない。いろいろ試すと「アンパンマン」も「アンパンマン」になるのよ、まだ物理的に、パパが発音できないことが確認できて安堵(笑)……しばらく「アンパンマン」で確認を続けよう!」(2012.1.24)

◆クリスマスライブはこんな具合…。

「今日は朝から市役所でいろいろ仕事があつて、夕方からはソリーの点灯式に行つて…いま、おもちゃ屋さんの閉店に滑り込みセーフ! 間にあつてよかった!」(2011.12.24)

などなど…。

忙しい合間をぬいで、なんとかお父さんしようとかんバツている倉田市長のようすが垣間見えます。どこかホッとしまふね。



◆市民の皆さんからの声をご紹介します◆

市立病院ガンバってますね。

市立病院がガンバっていることを聞きました。専門的なことは分かりませんが、がん、脳卒中、糖尿病などの病気になったときには、市立病院とかかりつけ医と一緒に診察をするとのこと。ふだんのかかりつけ医はよく診ていただいているので安心なのですが、さらに専門医のいる市立病院との連携は頼もしく思います。

また、リハビリテーションを365日休まず実施すること。いつもはあまり考えたこともないのですが、入院しても1日も早く退院できるための、新たな取り組みが始まるようです。いざというときに、しっかりと守ってもらえる市立病院として、また一歩進んでくださるようで、とても安心です。(M.Hさん)

幼稚園の長時間保育が助かります。

第一子が生まれ妻の会社の育児休暇制度を最大限活用して子育てをする中、子どもが成長するにつれ、保育所のことが気になり、市に相談したところ、「子育て応援幼稚園」を教えてくださいました。

これは、夏休み中でも朝8時から夕方6時まで預かり保育をしてもらえる私立幼稚園で、私の場合、市からの補助金により負担も保育所より安いとのこと。箕面市には保育所以外の選択肢が用意されていて、生活設計がしやすくなりました。

いまでは、この制度のおかげで3歳までしっかりと家庭で子育てをした後、仕事に復帰できています。さすが「子育てしやすい日本一」の箕面市ですね! (T.Oさん)

箕面の明日をつくる会 講演会

弁士:
倉田哲郎 (箕面市長)
國定勇人 (新潟県三条市長)

日程: 7月14日(土)
時間: 17時30分開場 18時30分開演
場所: グリーンホール(市民会館)大ホール

主催: 箕面の明日をつくる会

